

## 第404回 番組審議会

1. 日 時 平成 17 年 11 月 15 日 ( 火 ) 午後 1 時 30 分 ~  
2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室  
3. 委員総数 14 名  
出席委員 12 名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	堀内 三郎
	委員	山本 玲子
	委員	和田 利彦
	委員	高橋 三男
	委員	久郷 和美
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	西郷 喜代子
	委員	佐藤 晴久
	委員	増川 博之

欠席委員	委員	梅村 俊男
	委員	早瀬 藤二

社側出席者 松本 齊 (取締役副社長)  
石井 修平 (専務取締役) ｽﾀｼﾞｱ戦略・広報・番組審議会担当  
阿部 孝夫 (常務取締役) 報道・制作・事業担当  
村田 憲正 (役員待遇報道局長)  
千葉 正範 (営業局長)  
及川 昇 (事業局長)  
柴柳 二郎 (報道局アナウンス部長)

事務局 青山 尚之 (編成局長) 番組審議会事務局長  
八重樫雅弘 (編成局編成部主任)

#### 4. 議 題

##### 1. 「ニュースプラス1いわて」

毎週月曜日～金曜日 18時17分～18時54分

企画・天気情報 抜粋

- ・ 10/17(月)放送「インコのチロタン戻る」
- ・ 10/27(木)放送「おかやま国体リポート最終日」
- ・ 10/31(月)放送「天気情報」
- ・ 10/31(月)放送「中学生 23人乗りサーフィンに挑戦」
- ・ 10/31(月)放送「盛岡で馬車運行」

##### 2. その他ご覧になった番組についてのご意見

#### 5. 議事の概要

ニュースプラス1いわて(毎週月曜日～金 18時17分～54分放送)をテーマに意見が交わされ、各委員から活発な意見が出された。10月17日放送の企画「インコのチロタン戻る」については、「全国放送のニュースでも同じ内容のニュースを取り上げていたが、それに比べると全体的に長い構成になっていて、少し間延びがしている印象がある。」「事件・事故以外にも、このように視聴者から寄せられた情報をニュースにすることは意義深い」とする意見が出された。また、この10月期にリニューアルした天気情報については、「気象予報士の方が天気情報を伝えるスタイルにはテレビ岩手の独自性を感じる事が出来、これから期待していきたい。」「スタジオだけで天気を伝えるのではなく、外に出て、季節感のある中で気象情報を伝える方法を取り入れた方が良いのではないか。」とする意見が出された。

#### 6. 審議内容

別紙のとおり

#### 7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

#### 8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成17年11月22日(火)午前11時50分～11時57分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

#### 9. その他の参考資料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見
- ・ 委員名簿

## 議事の内容

- 事務局 きょうの議題は毎週月曜日～金曜日放送の「ニュースプラス1いわて」から企画・天気情報を抜粋しました。それでは委員長、宜しくお願いします。
- 委員長 それでは、ご意見をお願いします。
- 委員 全体的にはメリハリがあり、構成もしっかりしていて安心感があります。  
「インコのチロタン戻る」では手短かに終わらせても良かったと思いました。  
「おかやま国体リポート最終日」では結果が悪かった分、見ていて爽快感がなかったが、競技力をアップするには何が必要か分析があっても良かったと思う。  
「中学生 23 人乗りサーフィンに挑戦」はテンポが良く、いきいきしていて楽しかった。地域の人などへのインタビューにも好感が持てました。
- 委員 「インコのチロタン戻る」はニュースというより地域の話題と捉えた方がいいと思う。「おかやま国体リポート最終日」は単なる情報提供より低迷の理由などに切り込んで欲しかった。「天気情報」は好感が持てて、ビジュアル的にも工夫がなされていると思う。「盛岡で馬車運行」は町並みとのコラージュが美しかった。観光にどう結びついていくか意見を聞きたい。
- 委員 「インコのチロタン戻る」は全国ネットでの放送を見ていて、そちらのほうが纏まっていたと感じました。「天気情報」は全国の天気とあまり変わりがなく、エリアの情報画像が入ったほうが満足できる。「中学生 23 人乗りサーフィンに挑戦」は県が補助している背景、何に期待しているのかを取り上げて欲しかった。
- 委員 「インコのチロタン戻る」は全国ネットで取り上げたほうがほのぼのしている。「天気情報」は、プロの方の説明には納得が出来良かったが、地元の季節の話題なども取り上げて欲しい。
- 委員 地域の話題を細かく取り上げていると感じました。しかし「インコのチロタン戻る」は少しくどい感じがしました。「中学生 23 人乗りサーフィンに挑戦」は県の補助金としては無駄使いかな、とも感じましたが、中学生の晴れやかな顔を見ていると爽やかな気持ちになりました。
- 委員 「天気情報」は見ていて安心感があるが、安定感がありすぎて、その人自身の味をどのようにこれから出していくか楽しみです。
- 委員 毎日毎日県内の話題を集め、素材集めに苦労していると感じました。  
「インコのチロタン戻る」についてはネタのいきさつをお聞きしたい。  
「おかやま国体リポート最終日」に関しては、国体報告の前に岡山城が出てきて違和感をおぼえました。
- 委員 「天気情報」について、「5きげんテレビ」での平井さんとのやり取りとは感じや言葉使いが少し違うと思いました。「5きげんテレビ」とニュースでは、どのように分けているのか、お聞きしたいです。

- 委員 「インコのチロタン戻る」は他の委員と同意見ですが、このような小さな話題を取り上げる事には意味があるのではないかと思います。「天気情報」については、最近のテレビ岩手の中では大きな変化であると感じました。今、天気情報の役割はとても大きいと感じます。このような変化は一步すすもうという現われなのではないと感じます。個人的な質問ですが、紅葉時期の見ごろ情報などは、どのように決めているのか教えてください。
- 委員 全国ニュースの後、岩手のニュースである「ニュースプラス1いわて」を見ると明るい話題が挿入されている事に安心感を覚えます。
- 「天気情報」に関しては、これまでと同じように、外に出て天気を伝えて欲しいと思います。四季の様子を見せたほうが、季節感がよく伝わるのではないかと思います。
- 委員 「インコのチロタン戻る」は一人暮らしの高齢者の方に勇気を与えたと思う。また、情報提供に応える姿勢を感じました。
- 全体を通して見ると、事件事故の定時ニュースとワイドショー的なもので全体を構成していると感じました。ニュースの激選時間帯で他局との差別化を図ろうという姿勢を感じました。
- 委員 総じて評価が高いものであったと思います。委員からの質問。意見にお答えください。
- 社側 基本的には災害、事件事故が中心のイメージがあるかと思いますが、岩手県と特色として幸いな事に平穏な日が多くあります。視聴者とのキャッチボール、情報提供に積極的に対応、岩手のよさをPRしていきたいと思います。
- 社側 天気情報に関してスタイルを変えたことは大きな変化です。外からアナウンサーが天気を伝えるスタイルから気象予報士に任せるスタイルに変えました。
- 紅葉情報は地元の観光協会などに問い合わせるケースが多くなっています。
- 委員 他になにかありますか？ では、事務局にお返しします。
- 事務局 堀内先生が今回をもって任期満了となりました。ありがとうございました。以上で番組審議会を終了いたします。